



第72回・73回 (2024年度・2025年度)

帝人久村奨学生 募集要項[博士課程]

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION
KUMURA

本奨学金の特色

- 1) 博士課程10万円/月を給付 (他奨学金との併給が可能)
- 2) 本奨学金は、経済的困窮度よりも、成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視します。
- 3) 本奨学金を受給したことによる帝人グループ各社への入社等その他の付帯義務はありません。
- 4) 在学中に海外へ留学する場合は、正規の修業期間を上限として給付を継続します。

公益財団法人帝人奨学会

募集要項

1. 応募資格

医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等に在籍している学生で次の条件に該当し、指導教員の推薦を受けた者。

●2023 年秋（9 月、10 月）または 2024 年 4 月に国内大学の博士課程に進学することが決定している、または見込まれている大学院生（外国人留学生も可）

●2024 年秋（9 月、10 月）または 2025 年 4 月に国内大学の博士課程に進学することを希望している大学院生（外国人留学生も可）

※制度変更に伴い、今年度に限り 2 年度分（第 72 回・73 回）応募を致します。また、今後修士課程の募集は致しません。

※選考合格後、博士課程に進学されない場合は給付対象外となります。

*現在在学している大学から、他の大学院へ進学する場合は原則として現在の大学から応募してください。

*外国人留学生の場合は、留学予定先の国内大学から応募してください。

2. 採用人員

第72回（2024年度）：10名程度

第73回（2025年度）：10名程度

3. 採用基準

本奨学金では、経済的困窮度よりも、成績・研究に対する熱意や取組み内容を重視して選考します。

4. 選考方法

(1) 第1次選考
書類選考

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対して、次の系列毎の専門面接により選考します。

- 医学・薬学・バイオ学系（医学、薬学、生物、環境等）
- 理学系（化学、物理、材料等）
- 工学系（電気・電子工学、機械、建築等）
- 情報学系（情報システム、電子システム等）

(3) 最終選考

第2次選考合格者に対して、当会選考委員による面接を実施し、奨学生を決定します。

5. 選考スケジュール

博士課程進学予定者

選考方法	日程	場所
2次面接	11月中旬～下旬に実施	帝人（株）東京本社内
最終面接	12月22日（金）23日（土）に実施	帝人（株）東京本社内

※選考日時・場所等の詳細については、受験者宛に別途ご案内します。
※面接時の交通費は国内移動分のみ全額支給します。

6. 提出書類（応募書類は当会HPからダウンロード可）

(1) 公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生志願者調書（所定用紙、写真貼付）：志願者本人が作成するもの。

(2) 公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生推薦調書（所定用紙）：指導教員に作成いただくもの。

(3) 学業成績証明書（直近のもの）

(4) 現在の研究概要をA4判2～3枚に簡潔にまとめたもの1部（文字サイズは11ポイント以上、カラー不可）

(5) 個人情報の取扱いに関する同意書（所定用紙）：志願者本人が自署したもの。

(6) 在留資格認定証明書（在留カード等）
※外国人留学生のみ

7. 提出締切日

2023年10月10日（火）必着

8. 最終合否の決定

2024年1月下旬までに最終的な合否結果を大学院に文書で連絡します。

志願者本人にはEメールでご連絡します。

9. 奨学金の取扱い概要

(1) 給付期間

正規の博士課程修了月までとします。

※在学中に海外留学する場合は、正規の博士課程修業期間を上限として給付を継続します。

(2) 奨学金給付額

給付額 100,000円/月（博士課程）

(3) 給付開始月

第72回（2024年度）：2024年4月から開始

※2023年秋（9月、10月）入学者も同様です。

第73回（2025年度）：2025年4月から開始

※2024年秋（9月、10月）入学者も同様です。

(4) 給付方法

奨学生指定の金融機関の個人口座に偶数月初旬に給付額の2ヶ月分を振込みます。

(5) その他

ア. 他の奨学金との併給が可能です。

イ. 帝人グループへの入社等その他の付帯義務はありません。

ウ. HPに掲載されている先輩帝人奨学生からのメッセージやFAQもぜひご覧いただき、応募の参考としてください。

公益財団法人帝人奨学会概要



帝人奨創業者
久村 清太氏
(1880-1951)

公益財団法人帝人奨学会は、1953年6月の帝人株式会社創立35周年を記念した「帝人奨学会久村奨学生制度」を端緒として発足しました。翌1954年、この制度の一層の発展を期すため、奨学金事業を主事業として、財団法人帝人奨学会を設立しました。その後2011年に内閣総理大臣の認可を得て「公益財団法人帝人奨学会」に改組し今日に至っております。

帝人奨学会の目的は、人造絹糸(レーヨン)の製造技術を独自に確立し、「日本化繊工業の父」と呼ばれた久村清太氏の功績を讃えて、独創的な研究開発の精神を継承発展させるとともに、国家・社会の発展と文化創造に貢献する「若き科学技術者を育成する」ことにあります。

創立以来この制度を貫く本質的な精神は変わっておりません。本制度は一企業のためではなく、国家社会の発展を担う人材育成を主眼にしております。また、将来の科学技術を担う研究者を育成するために、経済的な条件等を問わず学業優秀であれば奨学金の給付を認めております。更に、本制度は発足以来、帝人株式会社への入社等の義務的拘束は一切設けておらず、公益財団法人の本質を堅持しております。

これまでに、ノーベル化学賞受賞者など1,700名以上の方が大学研究機関や民間企業で活躍されています。

1. 沿革

- 1953年(昭和28年)6月
帝人株式会社創立35周年事業として、育英制度を設立。
- 1954年(昭和29年)7月
文部大臣の許可を得て、財団法人帝人奨学会が発足。
- 2011年(平成23年)10月
内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人へ移行

2. 目的

科学技術者としての自己の使命を自覚し、国家・社会の発展と文化創造の担い手となる人材の育成を目的とする。

3. 帝人久村奨学金及び帝人久村奨学生命名の由来

日本で初めて化学繊維(レーヨン)の製造技術を確立し、その後の化繊工業の発展の礎を築いた、久村清太氏の功績を讃え、その偉業を永く後世に伝えるため、当会の奨学金を「久村奨学金」及び奨学生を「久村奨学生」と命名し、50周年を機に「帝人久村奨学生」、「帝人久村奨学金」と改めました。

4. 事業内容

技術系大学院生に対する帝人久村奨学金の給付。

5. 奨学生の実績

累計奨学生数：第1回(1953年)より第71回(2023年)までの帝人久村奨学生1,720名

6. 役員 <50名順>

- 理事長
内川 哲茂(帝人株式会社)
- 理事
伊藤 大雄(電気通信大学大学院教授)
(選考委員兼務)
浦野 泰照(東京大学大学院教授)
北川 敏明(九州大学大学院教授)
(選考委員兼務)

- 監事
嶋井 正典(帝人株式会社)
高原 淳(九州大学名誉教授)

- 評議員
岩澤 伸治(東京工業大学名誉教授)
内山 昭彦(帝人株式会社)
金井 浩(東北大学大学院教授)
八島 栄次(名古屋大学大学院教授)

- 選考委員
相田 卓三(東京大学大学院教授)
小比賀 聡(大阪大学大学院教授)
櫻井 文昭(帝人株式会社)
中野 貴之(帝人株式会社)

(2023年7月1日現在)

『若者よ海外へ出よ!』

～ノーベル化学賞 受賞(2010年)故 根岸 英一 氏からのメッセージ～

1958年に私が帝人に入社したころ、当時の大屋晋三社長は「若者よ海外へ出ろ。10年に1ヶ国語ずつ学べば、30年で3ヶ国語が話せるようになる。そうすれば君たちも世界で通用するようになる」と仰っていました。私がこのような道を歩むことができた原点は、この大屋社長の言葉にあります。

私の専門である化学のコンペティション(競争)の場は世界であり、いまや我々のプレーグラウンドは世界です。また学ぶための師も世界単位で探し、世界の競争の中でトップになることを目指す時代です。そういう意味で、皆さんのような若者には、積極的に海外へ出て頂きたいと思います。

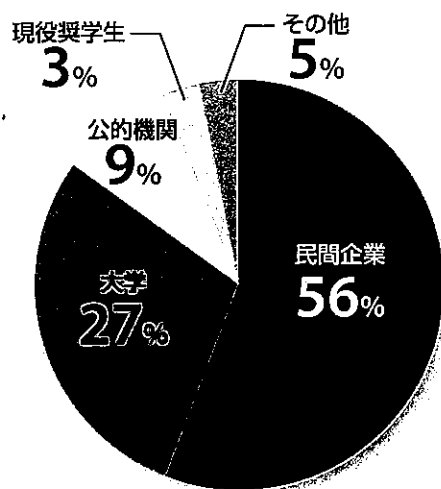
そして自らの「夢」を見つけたら真理を突き詰めるまで、とことんチャレンジしてください。今後の皆さんの大いなる活躍に期待しています。



故 根岸 英一 氏
帝人久村奨学生第5回生(1957年)

<2013年11月ご寄稿>

帝人久村奨学生データ



帝人久村奨学生総数 **1,720**名

現役帝人久村奨学生 **51**名

(2023年7月1日時点)

帝人グループについて

帝人グループは、企業理念に「Quality of Life」の向上を掲げ、創立から100年以上にわたり人々の豊かで快適な暮らしの実現を追求してきました。

高機能素材、ヘルスケア、ITと、それぞれの融合領域で技術革新に注力し、「環境価値」「安心・安全・防災」「少子高齢化・健康志向」の3つのソリューション領域において価値を提供する取り組みを進めています。

社会の変化を先取りする想像力と、技術力に裏打ちされた創造力。これによって磨き上げてきた、革新的な3つのソリューション。

テイジンはこれらを基盤として、社会が必要とする新たな価値を創造し続け「未来の社会を支える会社」になることを目指します。

帝人株式会社概要

創 立 …… 1918年6月
代 表 者 …… 代表取締役社長執行役員 内川 哲茂
資 本 金 …… 718億円 (2023年3月)
売 上 高 …… 連結：10,188億円 (2023年3月)
営 業 利 益 …… 連結：129億円 (2023年3月)
従 業 員 数 …… 連結：22,484名 (2023年3月)
主要事業内容 …… マテリアル事業、ヘルスケア事業、IT事業

URL: <https://www.teijin.co.jp>

HPのQRコードは
こちら



公益財団法人帝人奨学会

応募書類送付先及びお問い合わせ先

公益財団法人帝人奨学会

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート西館

TEL:03-3506-4424 E-mail: kumura@teijin.co.jp
<https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>

公益財団法人帝人奨学会 帝人久村奨学生志願者調書

受験専門科目 ※いずれかの番号に丸を付けて下さい。	記入日	年 月 日
①医学・薬学・バイオ学系（医学、薬学、生物、環境 等） ③工学系（電気・電子工学、機械、建築 等） ②理学系（化学、物理、材料 等） ④情報学系（情報システム、電子システム 等）		

「記入上の注意事項」

1. 記載事項に事実と相違する事がある場合は、奨学生としての採用を取り消すことがあります。
2. 年号は、西暦で記入して下さい。
3. Eメールアドレスは明確にご記入下さい。（ハイフン、アンダーバー、数字の0（ゼロ）、アルファベットの0（オー）等）

フリガナ					写真貼付 縦 4cm 横 3cm		
氏 名							
生年月日	年	月	日（満 歳）	性別		男・女・その他	
フリガナ							
現住所	〒() 都道府県						
	自宅・寮・下宿 TEL		携帯				
	e-mail : ※必須 ※必ず連絡の取れるメールアドレスを記入してください。						
研究室住所	〒()						
	TEL						
学 歴	高校・大学・大学院			学部・学科・専攻		入学 卒業 修了予定月日	
	高等学校					年 月	入学～ 年 月 卒業
						年 月	～ 年 月
						年 月	～ 年 月
						年 月	～ 年 月 修了 予定
進学予定大学院 及び指導教授	大学大学院		研究科		専攻		
	指導教授:						
研究テーマ 及び指導教授	テーマ:						
	(学部-指導教官:			教授		准教授)	
	テーマ:						
	(修士-指導教官:			教授		准教授)	
自己 評価	語学	読解力	作文力	会話力	自分の性格行動の特徴		
	英 語	A B C	A B C	A B C			
	語	A B C	A B C	A B C			
	TOEIC	点(年 月)					
クラブ・サークル歴							

氏名	記入年月日	年	月	日
----	-------	---	---	---

現在の研究活動の概要：(研究活動の概要を本欄に収まるよう簡潔にまとめてご記入ください)

論文投稿件数		学会発表件数		特許申請件数	
国内— 件	海外— 件	国内— 件	海外— 件	国内— 件	海外— 件

研究技術者としての将来の抱負及び修士又は博士終了後の人生設計

帝人久村奨学金を必要とする理由

受給状況・申請状況	団体名	奨学金額（月額）	併給可否
現在受給している奨学金 (帝人久村奨学金を含む)			はい・いいえ
今後受給が確定している奨学金			はい・いいえ
受給申請中もしくは、 申請予定の奨学金			はい・いいえ

日本学術振興会の特別研究員（DC1）に申請していますか？
※博士課程奨学金に応募する方のみご回答ください。

はい ・ いいえ

公益財団法人帝人奨学会 帝人久村奨学生推薦調書(博士課程)

年 月 日記入

志願者氏名			
大学院名 (修士)	大学大学院	研究科	
		専攻	
大学院名 (博士) (進学予定先)	大学大学院	研究科	
		専攻	
現在研究している テーマ			
研究技術者としての将来への期待：(将来の進路)			
帝人久村奨学生として推薦する理由：			
総合 評価	以上を総合評価して 最優秀 優秀 優 であると評価する。		
以上の通り帝人久村奨学生として相応しい人物として認め推薦いたします。			
(指導教員氏名)		年 月 日	研究科
		大学大学院	印

個人情報の取り扱いについて

公益財団法人帝人奨学会
事務局長

この書面は、このたびのご応募に伴い取得することとなる応募者の個人情報の保護と取り扱いに付きまして、個人情報保護法の規定に従いご説明するものです。

1. 個人情報に対する基本姿勢

帝人奨学会は、応募者の個人情報の保護および適切な取り扱いが社会的責務であると考えております。個人情報保護法の趣旨を尊重し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護・管理規定」を定め実行してまいります。

2. 個人情報の定義

個人情報とは、以下のような特定の個人を識別できるものをいいます。

- ①氏名、住所、生年月日、性別、学歴、電話番号、電子メールアドレス、振込口座番号および名義、採点結果
- ②その情報のみでは特定の個人を識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、この照合により特定の個人を識別できることとなる情報
- ③上記の情報のうち1つまたは複数を組み合わせて応募者を特定できる情報

3. 個人情報の取得、利用および第三者への提供

- ①当奨学会は、奨学生を選考するために必要、かつ選考目的の達成に必要な範囲内で、個人情報を取得します。
- ②応募者の個人情報は、選考目的の達成に必要な範囲内で、当奨学会が利用できるものとします。

4. 応募者の個人情報の利用目的について

- ①当奨学会の選考資料として、利用するため
- ②選考の結果、奨学生に採用された後、人事情報として管理するため
- ③奨学会の振込口座情報を管理するため

5. 個人情報の提出先の範囲

応募者の個人情報は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる第三者にも提供しません。

- ①応募者の同意を得た場合
- ②国の機関若しくは地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合。

6. 応募者の個人情報の安全管理措置

- ①当奨学会が保有するデータベースシステムについては、「セキュリティ管理規定」に従い必要なセキュリティ対策を講じます。
- ②当奨学会が、選考目的で利用する場合、関係者には適切な取り扱いおよび保護を行うよう指示・監督をします。

7. 個人情報の削除・消去

応募者を不採用とした場合、確認後6ヶ月以内に応募者の事前・事後の承諾を得ることなく、速やかに応募者の個人情報を安全かつ完全に削除・焼却いたします。

公益財団法人帝人奨学会 理事長 殿

同 意 書

私は、個人情報保護法および貴奨学会の定める個人情報保護方針に基づき、
選考および採用後、人事情報管理の目的のために、私の個人情報を保有し、
使用することに同意いたします。

年 月 日

署 名

印
